

場づくりとしての国際法教育

平野 実晴

神戸大学 法学研究科 准教授

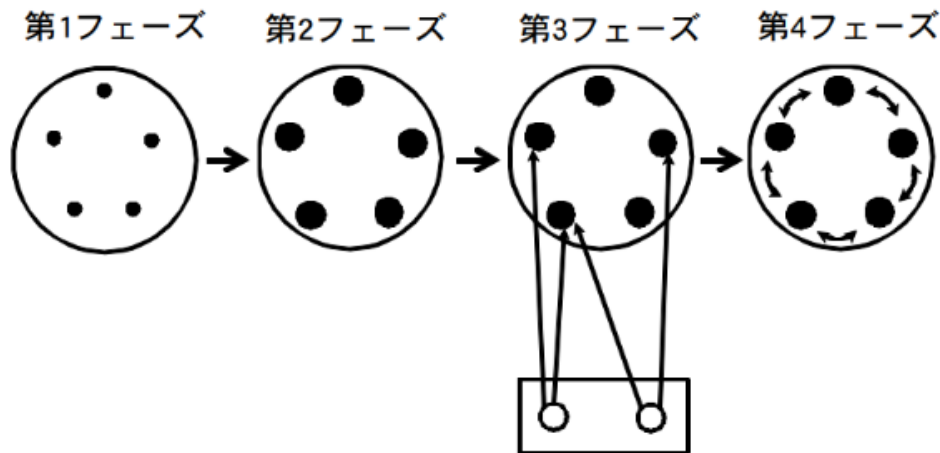
CoLabILプロジェクトの狙い



CoLabIL

コラボレーション(colab)による国際法(IL)教育を実現する「共同の実験室 (Co-Lab)」

「国際法教育の比較研究と若手教育者の能力育成—分野・国境・世代を超えるコラボレーション—」として公益財団法人 末延財団より助成を受けています。



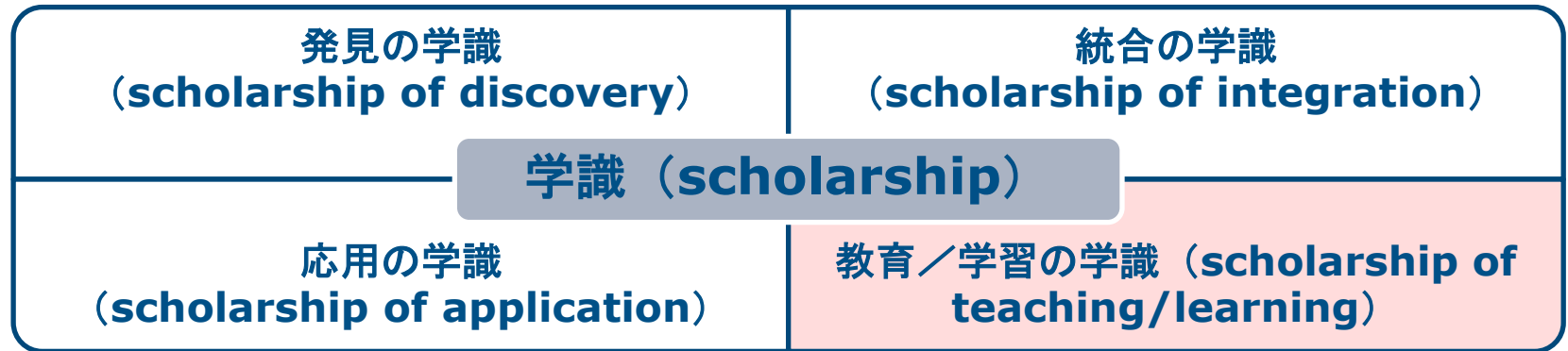
1. 各教員の努力
2. 各教員の教育能力向上
3. 外部からの支援
4. 教員間の相互交流

小方直幸「教育における大学教員のコラボレーション」『大学経営政策研究』第1巻（2011年）129-144頁。

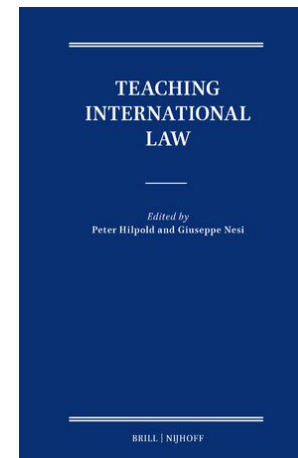
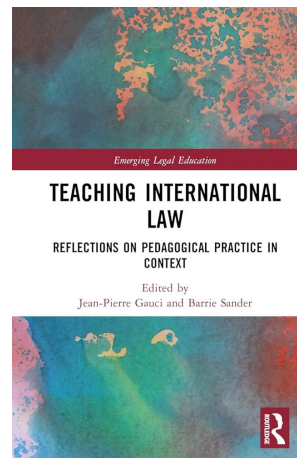
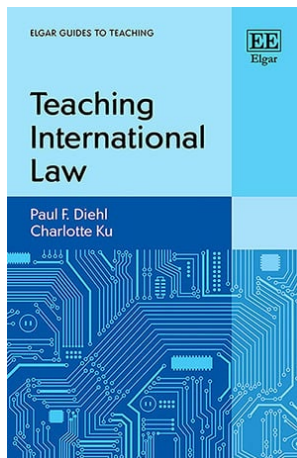
はじめに

●教育と国際法学

➤教育者としての学者 cf. 研究者



➤国際法教育への学術的関心の高まり



はじめに

●教育実践の学術化

➤省察的实践：

具体的な状況（教育現場）
の中で問題を認識



省察



行為の中で実践を改善



メタ化・理論化

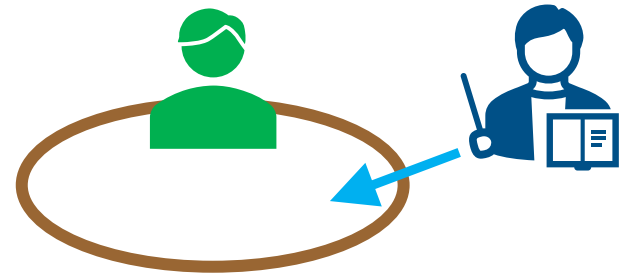
Cf. 技術的熟達：

専門的知識・技術の「適用」



➤教育（実践・方法）学の知見を国際法学に取り込み、 適合させ、国際法教育論を構築する必要

- はじめに
- 学習者にとっての「**学びの場**」
- 国際法律家が身を置く「**社会学的な場**」
- 国際法教育者の「**共省の場**」
- おわりに——そして協働へ



「学びの場」

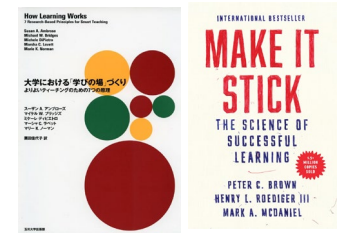
● 「学習者」 (learner) 中心の配置

認知科学・学習科学の発展



教育実践への架け橋

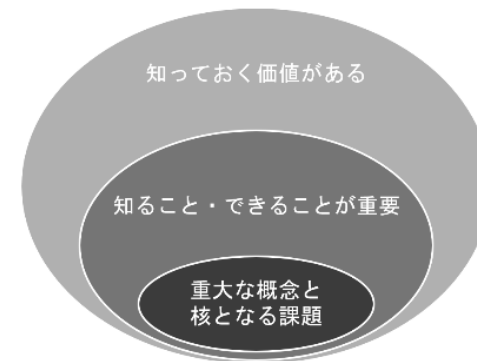
大学教育の方法論の体系化



● 国際法教育への導入

① 授業科目としての一体性＝授業設計／シラバス

- 国際法の「コア」を基盤とした授業の組み立て



(中島、2016 : 14頁)

➤ 学習目標の設定

Table 1.1 Bloom's Taxonomy (revised) applied to international law instruction – in order of complexity

Learning Objective/Goal (action verb)	Description
Create	Produce new/original work or knowledge about international law (e.g., research article)
Evaluate	Making decisions and judgments based on international law rules or criteria (e.g., simulated court decisions)
Analyze	Making connections between ideas and international legal rules (e.g., how and why international law changes)
Apply	Taking a concept or international law rule and placing it in a particular context (e.g., addressing a real or hypothetical legal question)
Understand	Explaining the meaning of ideas and concepts (e.g., describing the requirements of a particular international law rule)
Remember	Recalling basic facts and ideas (e.g., stating what a particular international law rule is)

Source: Adapted to international law instruction by the author based on Krathwohl (2002) and <https://www.valamis.com/hub/blooms-taxonomy#original> (last accessed 30 October 2023).

(Diehl & Ku, 2024: 5)

「学びの場」

②学習者への働きかけ ＝講義法

③講義以外の学習の形態＝アクティブラーニング

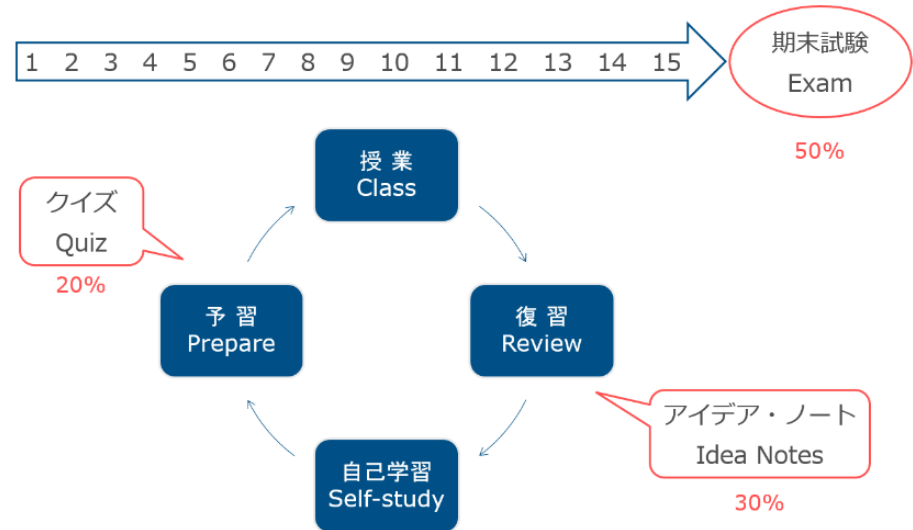
動画

<https://youtu.be/ZMqijorFaLQ?si=NZAKxmiYxsn7OphD&t=240>

④成績評価

➤ 評価の時期・評価対象とする学習

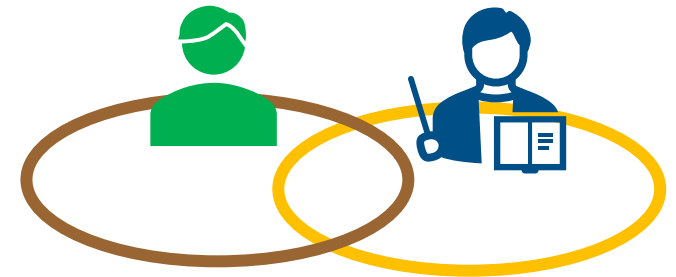
学習前（診断的評価） → 中（形成的評価） → 後（総括的評価）



➤ 真正の評価



- はじめに
- 学習者にとっての「学びの場」
- 国際法律家が身を置く「**社会学的な場**」
- 国際法教育者の「共省の場」
- おわりに——そして協働へ



国際法律家が身を置く「社会学的な場」



スマホで



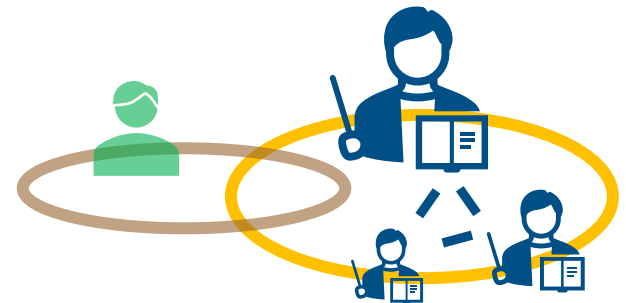
ウェブブラウザで



menti.comにアクセス
「7101 3787」と入力

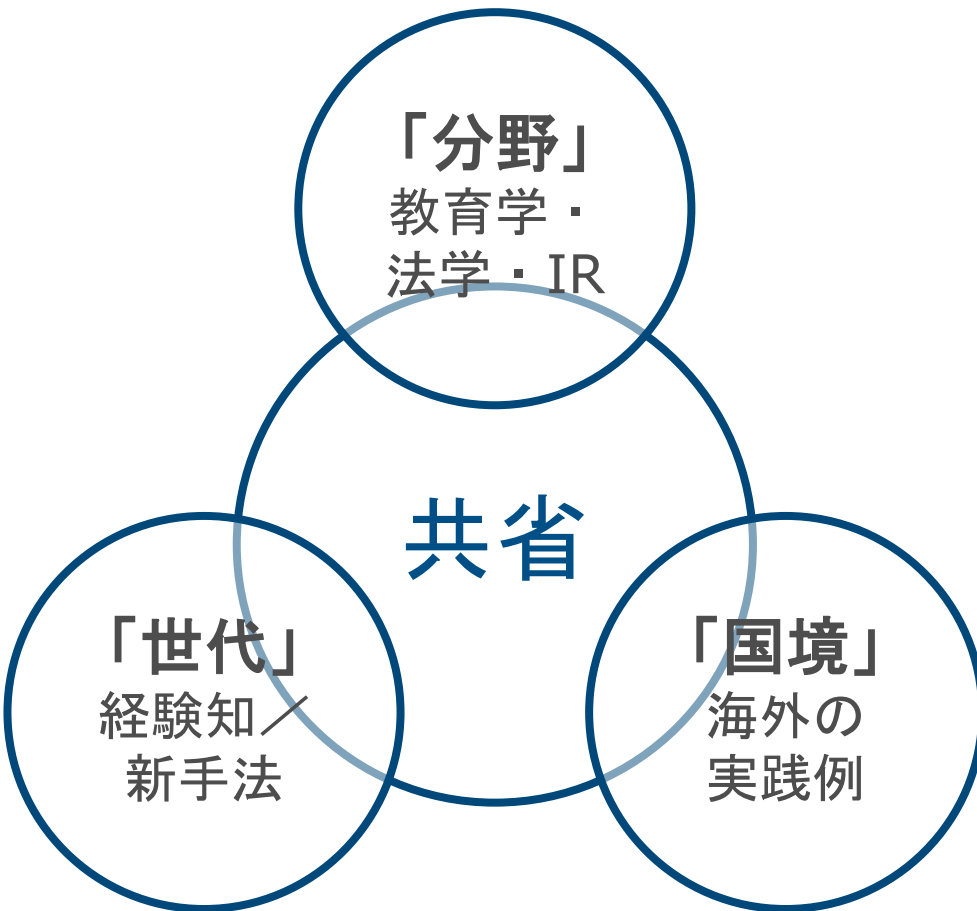
www.menti.com/alnq7nyw1niu

- はじめに
- 学習者にとっての「学びの場」
- 国際法律家が身を置く「社会学的な場」
- 国際法教育者の「共省の場」
- おわりに——そして協働へ



国際法教育者の「共省の場」——そして協働へ

➤ 「境界」を超える意義



➤ 雰囲気づくり



- 否定しない
「自分を取り入れたいこと」
「自分だったらこうするな」
- 実例・アイデアの持ち寄り